

様式 1		令和 3 年度 清瀬市立芝山小学校		学校評価計画	
学校の教育目標		公教育に携わる教職員としての職責を自覚し、一人一人が元気に輝き、確かな学力と豊かな心をもった自立する児童の育成を図るとともに、健康で安全な教育環境を整え、保護者・地域から信頼される学校づくりを目指す。		育成を目指す資質・能力及び特色ある教育活動	
目指す学校像（ビジョン）		【目指す学校像】子供の安全・安心を保障し、どの子にも居場所がある楽しい学校【安心】 保護者が安心して我が子を預けられ、保護者・地域とコミュニケーションを大切に する学校【信頼】 子供と共に学び、常にプラス思考で、教職員の専門性が発揮できる学校【充実】		●自ら考え、進んで取り組む力=自学力 ●よく読み、よく書くための言語の力=言語力 ●他者とかがわる力=かかわり力 ①言語能力の育成に重点を置いた学習指導の校内研究の推進（言語能力の実態調査、校長による音読教室、百人一首、国語辞典の活用 等） ②石田波郷俳句大会への参加と2年生から6年生までの全児童による俳句への取組 ③低・中学年の読み聞かせや図書館活動の充実などの全校読書活動の充実 ④特別支援教室（きらり教室）と担任との連携による特別支援教育の充実 ⑤全校縦割りグループを生かした学年交流の取組 ⑥学校支援本部を中核とした保護者・地域との連携と開かれた学校の推進	
前年度までの学校経営上の成果と課題		・言語能力の育成を図るための研究授業を行うとともに、読書の励行、俳句の創作、音読・暗誦による語彙力の向上、国語辞典の積極的活用など、言語活動の充実に取り組んできた結果、児童の言語への関心が高まり、理解力や表現力の向上が見られるようになってきた。 ・今年度は、改めて児童の言語能力に関する実態調査を実施し、言語能力にかかわる課題を客観的に把握した上で、言語能力の向上につながる授業改善の視点を明らかにして行く考えである。			
柱	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	取組指標（評価基準）	成果指標（評価基準）
確かな学力の向上	学ぶ意欲・達成感と確かな学力の向上 ○読み・書き・算の基礎的な学力の向上と全学年による共通実践 ○思考力・判断力・表現力を重視した授業改善 ○児童の学力に関する実態調査 ○学習規律・学習習慣の系統的指導 ○ALTの活用と指導法、教材の工夫 ○家庭学習の手引きの活用 ○タブレットの活用	○基礎学力の定着を図るため、児童一人一人の評価を適切に行い、授業改善につなげるとともに、個に応じた指導の充実を図る。	○学力の定着度を客観的に測定し、適切な評価を実施する。	4 教職員の自己評価で肯定的回答90%以上	4 児童及び保護者の肯定的回答80%以上
				3 教職員の自己評価で肯定的回答80%以上	3 児童及び保護者の肯定的回答70%以上
豊かな心の育成	基本的な生活習慣の確立と社会性・道徳性の育成 ・児童の人格の尊重と個性の伸長 ・偏見や差別に基づいたいじめの撲滅 ・自己有用感や自尊感情の育成 ・あいさつの徹底 ・「芝山小のきまり」の浸透 ・コミュニケーション能力の育成 ・異年齢集団の活用	○いじめ防止基本方針に基づく、いじめの未然防止・早期発見と早期対応を図るため、実態調査や研修会を実施し、いじめ防止の充実を図る。	○毎学期にふれあいアンケートやふりかえりアンケートを実施し、その分析結果を活用していじめの早期発見に繋げる。	2 教職員の自己評価で肯定的回答70%以上	2 児童及び保護者の肯定的回答60%以上
				1 教職員の自己評価で肯定的回答70%未満	1 児童及び保護者の肯定的回答60%未満
健やかな体の育成	安全で健康的な学校環境の整備と体力・健康の保持・増進 ○防犯・交通安全教育の充実 ○緊急避難体制の確立と避難訓練の充実・改善 ○施設や設備の安全点検と整備の実施 ○「みどりの絆」プロジェクトの推進と芝生の有効活用	○児童会によるあいさつ運動を推進するとともに、児童の縦割り班活動の機会を充実する。	○毎学期の挨拶運動の実施とふれあい班活動を計画的に実施する。	4 教職員の自己評価で肯定的回答90%以上	4 児童及び保護者の肯定的回答80%以上
				3 教職員の自己評価で肯定的回答80%以上	3 児童及び保護者の肯定的回答70%以上
特別支援教育の充実	特別支援教育及び教育相談の充実 ○特別支援教室の充実と通常学級との連携を強化する ○関係機関との連携を強化する。 ○OSCの効果的な活用 ○校内委員会を通じた情報の交換	○教職員、保護者、児童への、特別支援教育の理解を深める。	○安全点検、安全指導、避難訓練を工夫・改善し、計画的に実施する。	2 教職員の自己評価で肯定的回答70%以上	2 児童及び保護者の肯定的回答60%以上
				1 教職員の自己評価で肯定的回答70%未満	1 児童及び保護者の肯定的回答60%未満
本校の特色	言語能力の向上を図るためのカリキュラムマネジメントの推進 ○言語能力向上のための授業改善、学習活動の工夫	○月1回の安全点検・安全指導、避難訓練を実施し、児童の防災意識、教職員の環境整備等の意識を高める。	○学級活動や体育の学習を通して、児童の健康・安全への意識を高め、体力の向上を図る。	4 教職員の自己評価で肯定的回答90%以上	4 児童及び保護者の肯定的回答80%以上
				3 教職員の自己評価で肯定的回答80%以上	3 児童及び保護者の肯定的回答70%以上
本校の特色	開かれた学校の推進 ○各種たより等の充実 ○ホームページの充実 ○メール配信の活用	○学校での教育活動を積極的に発信し、保護者・地域・関係機関との連携を強化していく。	○児童の音読・暗唱活動を推進するとともに、俳句の創作に積極的に取り組ませる。	2 教職員の自己評価で肯定的回答70%以上	2 児童及び保護者の肯定的回答60%以上
				1 教職員の自己評価で肯定的回答70%未満	1 児童及び保護者の肯定的回答60%未満
本校の特色	開かれた学校の推進 ○各種たより等の充実 ○ホームページの充実 ○メール配信の活用	○学校での教育活動を積極的に発信し、保護者・地域・関係機関との連携を強化していく。	○学校だより、学年だよりの他、学校ホームページ、学級だより、メール配信等で、学校からの情報を発信していく。	4 授業で音読活動や俳句の創作を取り入れた学級が100%	4 児童及び保護者の肯定的回答80%以上
				3 授業で音読活動や俳句の創作を取り入れた学級が80%	3 児童及び保護者の肯定的回答70%以上
本校の特色	開かれた学校の推進 ○各種たより等の充実 ○ホームページの充実 ○メール配信の活用	○学校での教育活動を積極的に発信し、保護者・地域・関係機関との連携を強化していく。	○学校だより、学年だよりの他、学校ホームページ、学級だより、メール配信等で、学校からの情報を発信していく。	2 授業で音読活動や俳句の創作を取り入れた学級が60%	2 児童及び保護者の肯定的回答60%以上
				1 授業で音読活動や俳句の創作を取り入れた学級が50%	1 児童及び保護者の肯定的回答60%未満
本校の特色	開かれた学校の推進 ○各種たより等の充実 ○ホームページの充実 ○メール配信の活用	○学校での教育活動を積極的に発信し、保護者・地域・関係機関との連携を強化していく。	○学校だより、学年だよりの他、学校ホームページ、学級だより、メール配信等で、学校からの情報を発信していく。	4 教職員の自己評価で肯定的回答90%以上	4 保護者の肯定的回答80%以上
				3 教職員の自己評価で肯定的回答80%以上	3 保護者の肯定的回答70%以上
本校の特色	開かれた学校の推進 ○各種たより等の充実 ○ホームページの充実 ○メール配信の活用	○学校での教育活動を積極的に発信し、保護者・地域・関係機関との連携を強化していく。	○学校だより、学年だよりの他、学校ホームページ、学級だより、メール配信等で、学校からの情報を発信していく。	2 教職員の自己評価で肯定的回答70%以上	2 保護者の肯定的回答60%以上
				1 教職員の自己評価で肯定的回答70%未満	1 保護者の肯定的回答60%未満